

語る、 変わる、 結びつく。

記憶し継承する主体と
共同体を育むメディアリテラシー

2017年12月17日 [Sun]

13:00-17:00 明治学院大学 白金キャンパス 参加費
無料

災害や戦争の記憶、地域独自の文化の継承のために、
アーカイブや語り部の取り組みが盛んである。

しかし、いかに遺すのかという記録の研究や実践が
進んでいる一方で、誰がどう引き継ぐのか遺される側の
研究は十分とは言えない。時間の流れと共に人びとの
価値観も変わり、当事者意識や関心は薄れるなど、
引き継ぐことは容易ではない。

本フォーラムでは、メディア実践を通じた継承の主体とその
活動を継続していくような共同体の涵養について検討したい。

参加の
お申込み

以下のURLからご登録ください。
www.bit.ly/2mDmGuE

白水繁彦 - 駒澤大学

トランスフォーマティブ・エージェントの
涵養とエスニックメディアの役割：
ハワイのオキナワンコミュニティを例に

土屋祐子 - 広島経済大学

広島土砂災害を語り継ぐ、東北・女川ツアー

重野裕美 - 広島経済大学

白田理人 - 琉球大学

奄美大島・大島北高等学校の聞き書き
サークルとの取り組み

林田真心子 - 福岡女学院大学

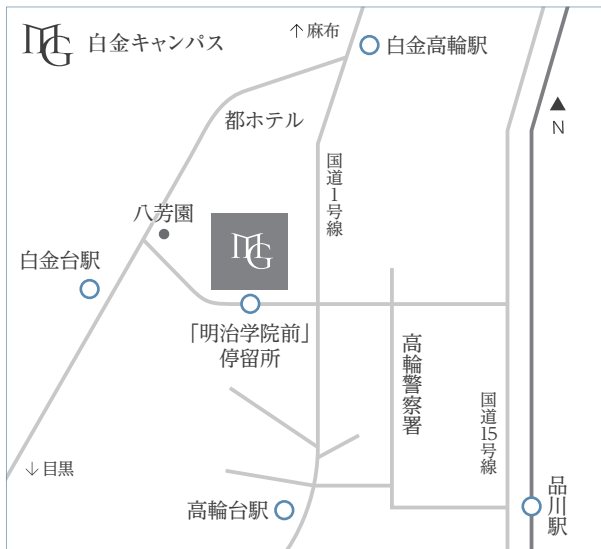
音から喚起される地域の物語

小川明子 - 名古屋大学

戦争ミュージアム、原爆小頭症の方との
協働実践

Program プログラム (登壇者敬称略)

- 12:40- 受付開始
-
- 13:00-13:10 ごあいさつ 総合司会・坂田邦子(東北大学)
-
- 13:10-14:25 第1部 講演：白水繁彦(駒澤大学)
 トランスフォーマティブ・エージェントの涵養とエスニックメディアの役割：ハワイのオキナワンコミュニティを例に
-
- 休憩(10分間)
-
- 14:35-15:50 第2部 デジタルストーリーテリング報告
- 土屋祐子(広島経済大学)
 広島土砂災害を語り継ぐ、東北・女川ツアー
- 重野裕美(広島経済大学)
 白田理人(琉球大学)
 奄美大島・大島北高等学校の聞き書きサークルとの取り組み
- 林田真心子(福岡女学院大学)
 音から喚起される地域の物語
- 小川明子(名古屋大学)
 戦争ミュージアム、原爆小頭症の方との協働実践
-
- 休憩(10分間)
-
- 16:00-17:00 第3部 ディスカッション
 討論者・古川柳子(明治学院大学)、全登壇者



参加費
無料

2017年12月17日 [Sun]

13:00-17:00 明治学院大学 白金キャンパス

災害や戦争の記憶、地域独自の文化の継承のために、アーカイブや語り部の取り組みが盛んである。しかし、いかに遺すのかという記録の研究や実践が進んでいる一方で、誰がどう引き継ぐのか遺される側の研究は十分とは言えない。時間の流れと共に人びとの価値観も変わり、当事者意識や関心は薄れるなど、引き継ぐことは容易ではない。本フォーラムでは、メディア実践を通じた継承の主体とその活動を継続していくような共同体の涵養について検討したい。

第1部にご登壇いただく白水繁彦氏は、30年に渡りハワイの日系メディアのフィールドワークに取り組みされており、沖縄系移民のエスニックアイデンティティの創出と形成過程を参与観察されてきた。ご発表では、複数の世代において、周囲の意識変容に影響を与えてきた「トランスフォーマティブ・エージェント」とメディアの役割についてお話いただく。

第2部では、語り継ぎのメディア表現ワークショップ「デジタルストーリーテリング」について報告する。まず、他者の語りから自己の語りを生み出していくリレー型の実践による他者理解や当事者意識の芽生えといった参加者の学びについて発表する。また、継承のための表現の広がりとしてサウンドスケープの試みや、戦争ミュージアムなど社会機関との連携についても報告する。

最後に、討論者に明治学院大学の古川柳子氏をお迎えし、全登壇者と会場のみなさんを交えてディスカッションを行う。

Access 会場までのアクセス

明治学院大学 白金キャンパス (港区白金台1-2-3) 本館1201教室

- 品川駅から：高輪口より都営バス「目黒駅前」行き「明治学院前」下車 (乗車約6分)
- 目黒駅から：東口より都営バス「大井競馬場前」行き「明治学院前」下車 (乗車約6分)
- 白金台駅から：2番出口 (エレベーター有) より徒歩約7分
- 高輪台駅から：A2番出口より徒歩約7分
- 白金高輪駅から：1番出口 (エレベーター有) より徒歩約7分